

単元名 Unit 1 New School, New Friends

配当時間 6時間

- 単元の目標 (1) be動詞と一般動詞、助動詞canを用いた文の形・意味・用法や、その疑問文と答え方を理解することができる。さらに、お互いを知るために、自分のことを伝えたり、相手のことを尋ねたりすることができる。
- (2) be動詞と一般動詞、助動詞canを用いて、即興で自分のことを伝えたり、相手のことを尋ねたりすることができる。
- (3) be動詞と一般動詞、助動詞canを用いて、お互いのことを知るために、自分のことや相手のことについて、即興でコミュニケーションを行おうとする。

標準的な展開例

10250102_001

【準備等】 デジタル教科書、電子黒板、タブレット

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 Part1 自分についての伝え方を学習する。</p> <p>★名前や好きなものなどについて伝え合おう。</p> <p>○ Enjoy Communicationを用いた活動を行う。</p> <p>○ be動詞・一般動詞の形・意味・用法を知る。</p> <p>○ 基本表現の学習をする。</p> <p>○ 本文の学習をする。</p> <p>○ 本文の概要をつかむ。</p> <p>○ 新出語句を確認する。</p> <p>○ 本文の内容理解をする。</p> <p>○ 音読練習をする。</p> <p>○ 練習問題に取り組む。</p> <p>2 Part2 相手についての尋ね方や答え方を学習する。</p> <p>★出身地や好きなスポーツについて尋ねよう。</p> <p>○ Enjoy Communicationを用いた活動を行う。</p> <p>○ be動詞・一般動詞の疑問文とその応答の形・意味・用法を知る。</p> <p>○ 基本表現の学習をする。</p> <p>○ 本文の学習をする。</p> <p>○ 練習問題に取り組む。</p> <p>3 Part3 できることの伝え方や尋ね方を学習する。</p> <p>★できることやできないことについて尋ねたり答えたりしよう。</p> <p>○ Enjoy Communicationを用いた活動を行う。</p> <p>○ 助動詞canと、疑問文の形・意味・用法を知る。</p> <p>○ 基本表現の学習をする。</p> <p>○ 本文の学習をする。</p> <p>○ 練習問題に取り組む。</p> <p>4 単元を通して学んだことを用いて、自分の文を考える活動に取り組む。</p> <p>★学習事項を使って、オリジナル文を考えよう。</p>	<p>・ 小学校で習った表現で活動させる。</p> <p>・ 動詞にはbe動詞と一般動詞があることを確認し、その用法の違いに気付かせる。</p> <p>・ Key Sentenceを見せ、日本語で簡単に疑問文の形・意味・用法を確認する。</p> <p>・ 日本文と英文の語順の違いに気付かせる。</p> <p>・ 電子黒板やタブレットで状況を確認する。</p> <p>・ 「メグは何歳で好きなものは何と言っているか」という聴取ポイントを与える。</p> <p>・ デジタル教科書等を活用して、意味の確認をしながら行う。</p> <p>・ 事前に巻末資料で発音のポイントを押さえておき、見本を示しながらまねをさせる。</p> <p>・ 正しく発音できていない場合は、ゆっくり発音させたり、回数を増やしたりする。</p> <p>・ 内容理解ができたなら音読を複数回行う。</p> <p>・ 一斉→個人→ペアの順で行う。</p> <p>・ ジェスチャーや大きな声を意識させる。</p> <p>・ Your Turnを行い、基本表現の定着を図る。</p> <p>・ 文の書き方に注意して、正しく自分の名前を紹介する英文を書かせる。</p> <p>【評】 自分のことについて書く活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・ 生徒に尋ねたり、自分のことを紹介したりしながら見本を示した後、活動に取り組む。</p> <p>・ Key Sentenceを見せ、日本語で簡単に疑問文の形・意味・用法を確認する。</p> <p>・ 疑問文の語尾が上がることや、語と語の音の繋がりを意識して音読させる。</p> <p>・ Your Turnを行い、基本文の定着を図る。</p> <p>・ 英文を書いた後は必ずペアで尋ね合わせ、不特定多数の級友と行わせる。</p> <p>【評】 出身地や好きなスポーツについて尋ねたり答えたりする活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・ イラストの活動について教師から尋ね、答えさせる。</p> <p>・ 生徒から教師にも尋ねさせた後、生徒同士で活動に取り組ませる。</p> <p>・ Key Sentenceを見せ、日本語で簡単に形・意味・用法を確認する。</p> <p>・ canが動詞と一緒に使われることを知る。</p> <p>・ Your Turnを行い、基本文の定着を図る。</p> <p>・ 英文を書いた後は必ずペアで尋ね合わせ、不特定多数の級友と行わせる。</p> <p>【評】 できることやできないことについて尋ねたり答えたりする活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p>

<p>○ パフォーマンステストの説明をする。</p> <p>○ 学習事項を振り返る。 ○ 原稿用紙を作成する。 ○ 練習する。</p> <p>5 パフォーマンステストに取り組む。 ★学習事項を使ってパフォーマンステストに取り組もう。 ○ ALTに自己紹介をする。</p> <p>6 単元のまとめ 単元テストに取り組む。 ★学習事項をまとめ、単元テストに取り組もう。 ○ 単元テストに取り組む。</p> <p>○ Unitの目標を振り返り、できるようになったことや今後の学習の課題を設定する。</p>	<p>・ ALTに自己紹介をすることを伝える。 ・ 自己紹介活動のルーブリック評価を示したり過去の先輩の動画を見せたりして、自己紹介に向けての意欲を高める。 ・ マッピングを用いて内容を整理させる。</p> <p>【評】 自己紹介のための原稿を作成する活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・ 自己紹介が終わった後、いくつか即興で質問をするようALTに伝えておく。 【評】 ALTからの質問への応答を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 【評】 ALTからの質問への応答を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>【評】 単元テストを通して、学習事項についての「知識・技能」を評価する。</p>
---	--

【 備 考 】
授業内で効果的にタブレットやQRコードを活用する場面を設定する。宿題や家庭学習等でそれらを効果的に活用するように促す。